

男子部中等科・高等科

「MOJIKARA デザインの提案」

橋 隼人

本活動では、食事研究グループ製造のクッキーとチョコレートタルトのパッケージデザインを行なった。パッケージデザインを行なう際には、表感文字を用いたロゴや手書きのイラストなどを組み合わせた。パッケージ製作のプロジェクトを実施する準備として、書道家の本田蒼風さんと日本経済新聞社（出版部）の金東洋さんをお招きし、「良いデザインとは何か？」について講義やワークショップをしていただいた。ワークショップでは、参加者全員がオリジナルの表感文字を作成し、それを用いて全員が名刺作成をした。中等科1年生2名は、本活動内容をまとめた動画の作成、高等科1年生の1名はデザインの勉強として学業報告会のパンフレット作成という大役を担った。知識を得るだけでなく、得た知識を様々な成果物として発信することができたことは、本活動の大きな成果であった。

I. はじめに

今年度の学業報告会では、「デザイン」を大きなテーマとして取り上げた。参加した生徒は、中等科1年生6名、高等科1年生3名、高等科3年生1名の計10名であった。学んだことをまとめて報告するだけでなく、実際に手を動かして何かをデザインするプロジェクト型の学びをしたいと考え、今回のテーマを選択した。また、今後の学校生活や社会に出てからも活用できる力を育みたいと考え、プレゼン製作や動画編集なども積極的に取り組んだ。

II. 講師による特別講義

1. 本田蒼風（書道家）による講義

最初の2日間を利用し書道家の本田蒼風さんに講義をしていただいた。デザインとは、自分本位のモノではなく、製造者と消費者を繋げるものであることとお話いただいた。文字についても講義をしていただき、文字の歴史や種類などについても学びを深めた。

座学と合わせ、表感文字を用いた名刺作りのワークショップも行なった。2日目には全員が自分の名前の一字と好きな漢字1字を組み合わせて表感文字のロゴを作ることができた。

2. 金東洋さん（日本経済新聞出版部）による講義

金さんには、良いデザインの要素には、売り場で目立つものや親しみやすいものがあると教えていただいた。また、実際に様々な出版物を見せていただきながら、文字の組み方や書体や色の選び方についてもご指導いただいた。商品サンプルを提案する際には、必ず3つ以上のサンプルを持っていくこともアドバイスいただき、生徒が様々な試作品を作る動機付けとなった。



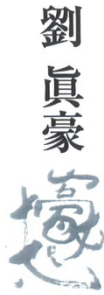
図1：ワークショップの様子

MOJIKARA研究所
デザイン部



Mail : iiyu.moiikaradesign@gmail.com

MOJIKARA研究所
デザイン部



Mail : jiyu.mojikaradesign@gmail.com

図2：製作した名刺



図4：試食会の様子

Ⅲ. パッケージデザイン制作までのプロセス

1. ヒアリング・調査

パッケージ制作を行なうにあたり、製造者である食事研究グループの方に取材にいきました。取材では、どのような気持ちで製作しているか、食事部の特徴は何かなど様々なことを伺い、必要な情報を集めた。また、ヒアリングだけでなく食事部のクッキーが掲載されている雑誌やチラシも参考にした。生徒から実際のクッキーを試食しパッケージ作りの参考にしたいという要望もあり、クッキーの試食会も実施した。



図3：食事研究グループへの取材の様子

2. 表感文字の作成

調査結果をもとに、二つの表感文字を作成した。1つ目は、自分の子供に食べさせたいクッキーをコンセプトに「子」+「愛」+「手作り」を表感文字として表した。



図5：表感文字1（子+愛+手作り）

2つ目は、若い人でも、お年寄りの方でもどんな人からも愛されるというコンセプトのもと「若」と「老」と「心」+「手」を組み合わせてロゴを製作した。



図6：表感文字2（若+老+心+手）

3. イラストの作成

文字だけでは伝わらない人も居るのでは？という疑問を持った生徒から、イラストと組み合わせたいと提案があり、表感文字とイラストを組み合わせたデザインを作成することになった。



図7：イラスト1



図8：イラスト2

4. 印刷及びレイアウト

製作したイラストとロゴは、スキャナでデータ化し、その後 Adobe Illustrator でサイズや色などを調整しパッケージデザインを完成させた。



図9：パッケージ1



図10：パッケージデザイン2

IV. 動画編集

以下に中等科1年生2名が懸命に製作した動画を公開いたしました。是非ご覧下さい。

<https://youtu.be/fQakeo9b2Yg>

V. プログラムの作成

高等科1年生の有志生と1名がデザインの勉強として、学業報告会のプログラム製作をした。2学期が始まってすぐに、いくつかのデザインの本を読み、フォントや色、グリッドシステムなどについて基礎知識を深め製作に取り組んだ。



図11：当日配布されたプログラムの表紙

VI. おわりに

今回の学業報告会は、初めて縦割りで行なわれ、本グループも異学年で構成された。はじめはどうか不安もあったが、上級生が1年生にとっても丁寧に関わり、活動を行なうことができた。また、1年生もフォロワーシップを学ぶとても良い機会となり、精一杯活動ができた。

学業報告会の最後に、デザインの依頼を募集した所、現在までに3件の依頼があった。

生徒の学びがこのように継続的な活動として実施されていることは、大変喜ばしいことである。

今後も生徒とともに様々なことに取り組み、色々な手法で表現していきたいと感じることができた学業報告会であった。